

2021年度事業計画（案）

1 基本方針

当協議会は、すべての会員事業所の活動がしやすい環境整備を関係機関と協働して進めるとともに、労働安全衛生の普及、福利厚生充実及び経営改善の支援などを促進し、それぞれの経営の安定・向上に資することにより、白井工業団地の活性化と地域経済の発展に寄与する。また、会員間の交流・連携を深めるとともに、地域との相互理解を通じて交流事業の拡充及び地域活動の支援などの公益的事業を推進する。

2 実施事項

1) 協議会組織の強化と活性化について

未加入事業所の入会促進を行い組織の拡大を図るとともに、理事会、各委員会及びブロック会議などを定期的に開催し、会員間の意見交換を活発化させ、新たな事業の検討や課題解決等に向けて一体感を持って取り組む。

また、有益な賛助会員の加入を進め、当協議会への協力・支援の機運を高めるとともに、財務基盤の強化につなげる。

さらに、情報発信の強化と情報共有を促進するため、ホームページの活用や会報の充実を図るとともに、コロナ禍にあって定例開催が難しい状況にある各種の会議や行事等について、ICTを活用したウェブ会議やオンラインによるセミナー・行事等の開催などを推進する。

2) 技能講習会等について

従来¹の技能講習を継続するとともに、会員の要請により新たな講習も積極的に開催するとともに、技能講習実施機関の多様化を図る。

なお、出張講習に必要な会場については、会員事業所の理解を得て確保に努める。

3) 労働安全・労働衛生等について

船橋労働基準監督署及び（一社）船橋労働基準協会と連携し、労災事故をなくすため、労働安全衛生の意識の高揚及び労働災害の防止対策の普及を図る。

また、全国安全週間や衛生週間においては、各事業所はもとより従業員が必要とする労働安全及び労働衛生に関する講演会等を適宜開催する。

4) 健康・衛生事業について

会員事業所の従業員の合同健康診断、インフルエンザ予防接種及び各事業所の井戸水水質検査などは、引き続き実施し、健康・衛生管理に努める。

また、白井工業団地地区への上水道の普及については、白井市に強く要望していく。

5) 環境整備について

道路関係では、白井市に対して工業団地アクセス道路の早期整備、早期開通とともに、桜台地区からの新たな計画道路の整備の早期着手について、引き続き強く要請する。

また、春・秋の工業団地一斉清掃・ごみゼロ運動の実施、防犯灯の新設・補修などを随時行うとともに、交通量が増加していることから交通安全の徹底と意識の高揚を図り、清潔で安全な工業団地の維持に努める。

さらに、近年は、台風・大雨、地震等の自然災害の発生が危惧されているとともに、白井工業団地地域においても窃盗などの犯罪が多発していることから、防災及び防犯に

ついて、当協議会として具体的な取り組みを計画し、早期に実効性のある取り組みを実施する。

特に、防災については、会員相互の協力・支援体制を整えるとともに、関係機関との災害時相互支援協定の締結を推進する。

6) 交流・親睦について

交流事業は、当協議会にとって重要なものであることから、一層、会員間及び地域住民との交流・親睦を図るため、親善野球大会の開催及び地域と連携して納涼盆踊り大会を開催するほか、新たな交流等の機会の創設を図って行く。

また、昨年度予定していた当協議会の創設50年記念事業については、コロナ禍にあって実施が難しいことから今年度の開催としていましたが、依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、祝賀会や記念公演などのイベントは中止し、記念誌の発行・配布のみとする。なお、今年度中に後世に残すことができる事業について検討する。

7) 事業支援について

コロナ禍にあって、今年度実施ができなかった産学官連携における技術開発支援や雇用拡大に向けたインターンシップなどの取り組みについて、コロナ禍であっても可能な連携方法を模索しながら着実に実施して行く。

また、経営改善や効率化等のヒントにつながる生産性向上支援セミナーとして生産管理関係及び組織マネジメント関係の2講座を引き続き開催するほか、ITスキルを高めるためのIT活用力セミナーを開催する。

さらに、サテライト相談(4回)については、引き続きその有用性をPRし、気軽に経営全般にわたる相談に活用できるようにするとともに、昨年秋から毎月開催している知財総合支援相談についても引き続き開催し、特許や商標等の利活用などの支援を行う。

また、会員事業所の求人情報や製品の受発注情報をホームページに積極的に掲載し、情報発信の強化や会員間取引の支援を推進する。

なお、コロナ禍にあって実施が困難となっている優良事業所等の視察研修会については、新型コロナウイルス感染症の収束を待って実施することとする。

8) 白井工業団地産業振興センターの活用について

産業振興センターについては、会員利用のほか多方面での活用についてPRし、利用促進を図る。

9) 関係機関との連携強化について

工業団地の環境整備や活性化に向けた取り組みの実現には、関係機関等の協力が不可欠であることから、各方面との連携強化を積極的に推進する。

そのために、白井市や白井市議会との定期的な意見交換会等を開催するとともに、印西警察署や民間バス会社などとも共通の課題について、意思疎通が図れる関係を構築するとともに、工業団地周辺の自治会や市民団体との交流を促進し、理解を図る。

10) 地域との交流及び地域活動支援について

企業にとって優秀な人材を確保し育成していくことは、発展の重要な要素であることから、将来の地元人材の確保に向け白井市内の中学校及び高等学校と連携し、キャリア

教育の助成や職業体験型学習の支援などを引き続き行う。

また、これまでの地元自治会や市民団体との交流をさらに発展させ、白井市が設立を目指す白井第二小学校地区まちづくり協議会にも積極的に参加し、地域の理解を得ながら地域と一体となった工業団地となるよう取り組んで行く。

〔参考：主な新規事業及び重点事業〕

- ① 地域との連携強化
- ② キャリア教育の支援事業の普及と定着（市内小・中学校及び白井高等学校）
- ③ 産学連携の定着・推進
- ④ 防災・防犯対策の実施
- ⑤ 実践セミナーの開催拡大（ICT活用セミナーなど）
- ⑥ ホームページの利活用の拡大
- ⑦ 労働災害の防止対策の強化
- ⑧ 道路整備、上水道の事業化、公共交通（バス）の利便性向上、交通規制緩和及び解除などの要望活動の強化
- ⑨ 正会員及び賛助会員の獲得
- ⑩ その他

特記事項

- * 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、会議、行事、技能講習等が開催難しい場合は、延期又は中止とすることがあります。